書式３：生命倫理の識見を有する専門家

西暦　　　　年　　月　　日

略　歴

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな |  |
| 氏名 |  |
| 所属機関 |  |
| 所属・職名 |  |
| 学歴 | 　　　　　　　　　　大学　　　　　　学部　西暦　　　年卒 |
| 勤務歴 | 西暦　　年　月～西暦　　年　月： |
| 西暦　　年　月～西暦　　年　月： |
| 西暦　　年　月～西暦　　年　月： |
| 西暦　　年　月～西暦　　年　月： |
| 西暦　　年　月～現在：（※現在の所属先と兼務先（臨床教授含む。）があれば全て記載すること） |
| いずれかを満たすこと | 大学での教員経験 | □生命倫理に関する教育又は研究を行っている常勤の教授、准教授若しくは講師である。□過去に５年以上の生命倫理に関する教育又は研究の常勤の教授、准教授若しくは講師の　経験がある。 |
| 教育・研究等 | いずれも満たすこと | □大学院修士相当の生命倫理学に関する専門教育を受けている□査読のある学術雑誌に筆頭筆者として、生命倫理に関する学術論文が1編以上ある。（雑誌名、巻数、号数、出版年月：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 専門分野 |  |
| 所属学会等 |  |
| 法律違反の有無 |  |
| 備考※ |  |

※委員の役割など、特段の選任理由等がある場合には記載すること

※「大学での教員経験」、「教育・研究等」、は、該当する□にチェックをいれること